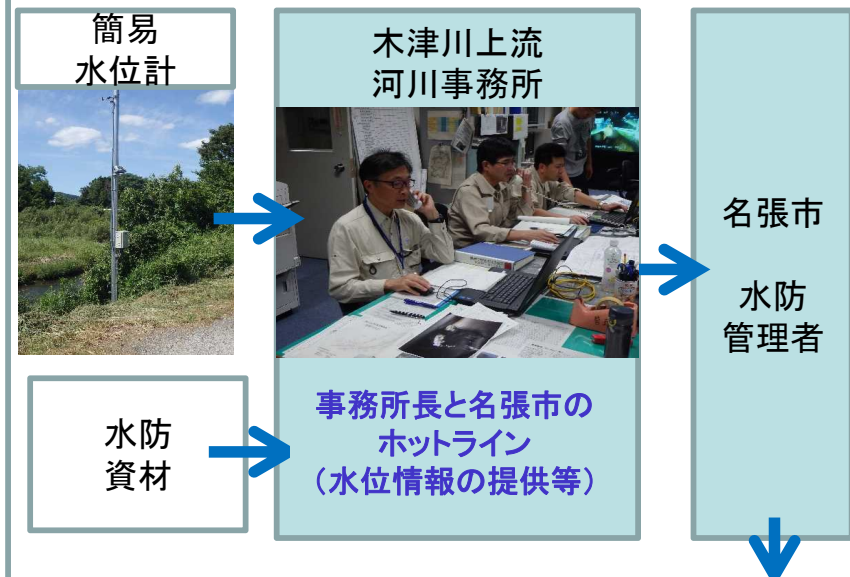


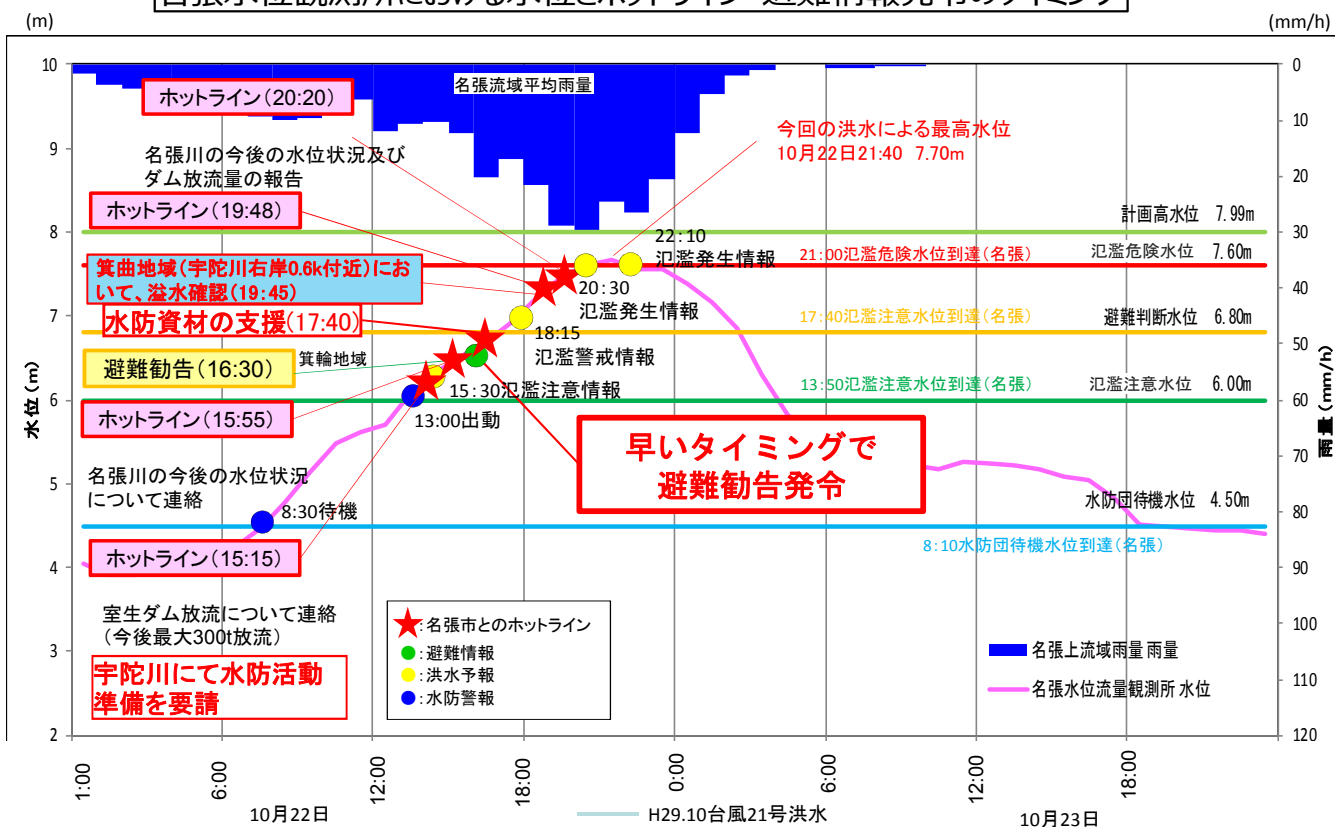
淀川水系宇陀川では、水位上昇による溢水の可能性があったことから、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のため、大規模氾濫減災協議会において事前確認していた行動計画（タイムライン）に基づき、事務所長と市長間でのホットライン等によるリアルタイム水位情報の提供や水防資材の提供を実施した。早い段階での水位情報提供等により、十分な余裕をもった避難勧告発表、溢水前に土嚢積みなどの水防活動を実施することができた。（家屋等8軒を対象に土のう3段積み（約200袋））

リアルタイム情報(簡易水位計)、水防資材

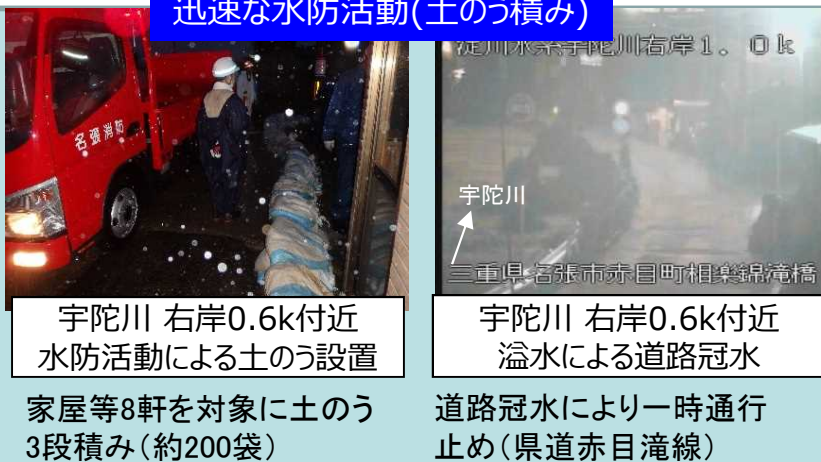


木津川上流河川事務所から名張市へのホットライン(名張川・宇陀川)の実績

名張水位観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



迅速な水防活動(土のう積み)



名張市危機管理室のコメント:

早い段階で宇陀川の水位情報もらったので、避難勧告を早くに出す事ができた。また、タイムラインの各段階でホットラインをもらっていたので、土のう積みなど早めの水防活動につながった。